

20京都国民春闘討論集会

とき 12月7日(土)・8日(日)

ところ 亀岡湯の花温泉「烟河(けぶりがわ)」

京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 237 号

発行所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会(京都総評)
電話 075(801)2308 FAX 075(812)4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
<発行責任者> 梶川 憲 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

出馬表明

福山和人さんが京都市長選へ

2020年2月投票



立候補の決意を語る福山弁護士

多くの市民といっしょに

来年1月19日告示、2月2日投票の京都市長選挙に、弁護士福山和人さんが11日、記者会見を行いました。立候補を表明しました。

市民自らが政策を実現できる市政をつくりあげたい

福山さんは、知事選挙に再挑戦してほしいという声を何度も聞いたことに触れ、「普通の市民が政治をつくるという理念を京都市で実現できれば、京都府全体を養える大きな力をつくることになる」「京都市以外のみなさまには、わがままをお許しいただき、お力添えをいただければと願っています」と思いを語りました。

福山さんは、「政令市である京都市が果たす役割には大きなものがある。京都市民でいてよかったと実感してもらえる市政実現へ全



京都市への要請行動

京都市役所前と京都府庁東門前で早朝宣伝を行い、68人が参加しました。京都市への要請行動では、京都市要請の参加者から各団体から集まった個人請願書を「誰もが安心して暮らせる京都市政を」と要求伝えて手渡しました。代表による要請行動では、「すべての中学校で、全員制の安全で温

かい給食の実施を」「介護保険認定給付業務の集約・民間委託、嘱託員1300人の雇止め方針は撤回せよ」「介護など福祉労働者の処遇改善へ京都市独自の施策を実施すべき」など重点項目を中心に要請しました。

「ほんとうにすごい高校生がいるものやなあ」と感心していました。でも、日本でも素晴らしい活動をしている高校生たちがいて、注目が集まっています。「大



要求を市民にアピール！市役所包囲デモ(府市民総行動で)

8時間働けば、まともな暮らしを！ 秋季年末闘争勝利へ 公務・民間力あわせて

公務員賃金確定闘争のヤマ場、民間の年末一時金要求に対する回答・交渉など、11月は秋季年末闘争の大事な局面です。

京都総評は、11月8日にラポール京都ホールで「秋季年末闘争勝利！労働者総決起集会」を行い、単産・地域から126人が参加。公務・民間力を合わせて、要求実現へ粘り強くたたかう決意を固めました。

10月31日には、「秋の府市民総行動」が行われ、京都市・京都府に対する宣伝、個人請願、代表による要請行動が展開されました。

切実な要求かかげ、秋季年末闘争勝利へ

11・8 秋季年末闘争勝利！労働者総決起集会
11月8日に「労働者総決起 川議長が開会あいさつを行

秋の府市民総行動
10月31日、2019年秋

「いのちと暮らし、雇用と営業を守る」京都市・京都府を

秋の府市民総行動
10月31日、2019年秋

「雇止めは許せない」と訴える嘱託員の仲間たち

い、そのあと全労連の黒澤幸一事務局長が、「全国一律最低賃金をめぐる最新情勢」と題して講演しました。黒澤さんは、京都も含めてこの間取り組まれてきた最低生計費試算調査の結果をもとに、「ふつうに暮らすためには時間額1500円必要で、それは全国どこでも同じ」「だからこそ全国一律最低賃金がどうしても必要」「全国一律化と最賃1500円を実現すれば、①貧困と格差は正への一歩、②地域経済の活性化ははかれる、③誰でもどこでも同じ賃金を受けられるべき」と訴えました。

「秋の府市民総行動」が行われ、京都市・京都府に対する宣伝、個人請願、代表による要請行動が展開されました。

意、医労連から180人以上が参加した統一行動の報告、京建労から組織拡大の経験と京都市長選挙をたたかう決意が語られました。



「雇止めは許せない」と訴える嘱託員の仲間たち

「ほんとうにすごい高校生がいるものやなあ」と感心していました。でも、日本でも素晴らしい活動をしている高校生たちがいて、注目が集まっています。「大

そして最低賃金運動は、①貧困と格差をなくす人権運動、②地域経済の再生、③労働運動再生の象徴的たたかいという3つの意義があるたたかいだと強調し、来春に全国一律最低賃金制度実現へ奮闘しようと呼びかけました。

先目行われた国連気候変動サミットで、スウェーデンの高校生がレタ・トゥンベリさんの活躍が大きく報道されました。

TUBUYAKI

先目行われた国連気候変動サミットで、スウェーデンの高校生がレタ・トゥンベリさんの活躍が大きく報道されました。

生かそう憲法! 守ろう9条!



日本国憲法公布から11月3日で73年となるのを前に、安倍改憲を阻止しようと、「憲法集会in京都」が11月2日、円山音楽堂で開かれました。集会後には、京都市役所前まで憲法ウォークを行い、市民や観光客に「憲法を守ろう」「9条改憲許すな」とアピールしました。

11月10日は、京丹後で「いらんちゃー! フェスタ2019」が行われ、集会後にデモを行い「米軍基地はいらない!」とアピールしました。改憲発議を許さず、憲法を守り、生かす社会をめざして、3000万署名を軸に運動を広げましょう。

許すな! 国会発議 安倍改憲を阻止しよう

11・2憲法集会in京都

11月2日に行われた、「生かそう憲法 守ろう9条 11・2憲法集会in京都」に1700人の市民・労働者が参加しました。

集会では、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党の代表があいさつし、立憲民主党、国民民主党がメッセージを寄せました。憲法9条京都の会世話人の小笠原伸児弁護士が、「安倍9条改憲に決着を!」と題して講演しました。

松元ヒロさん(コメディアン)のソロライブでは、安倍政権を風刺とユーモアで批判し、会場は大盛りの上

住民の安全・安心は 米軍基地撤去でこそ

いらんちゃー! フェスタ2019

今年で6回目となる「米軍基地いらんちゃー! フェスタ2019」が丹後文化会館で開催されました。天気にも恵まれ、昨年を上回る700人の参加者が集う

集会となりました。オープニングは「うたごえ有志のみなさん」による迫力のある合唱から始まり、集会参加者から「こういうパフォーマンスをこれから

がりでした。一人芝居「憲法くん」も披露。「時代に合わないのは憲法ではない。憲法に合わない政治こそ変えればよい」とのセリフが印象的でした。

集会後、憲法ウォークとして京都市役所前までパレードを行い、市民や観光客に「9条守ろう」「改憲許すな」「いのちが大事」とアピールしました。



▲舞台いっぱい! うたごえの仲間たち デモでアピール



も継続してほしい」といった声が出ていました。

主催者を代表して米軍基地反対丹後連絡会の増田光夫副代表が「安倍政権を倒

題でも米軍の「銃口問題」でも梅田副市長は無責任な発言と態度をくりかえしている。さらには米軍基地稼働から3年を経て「開店バーゲン」は終わったとばかりに住民無視の暴挙を繰り返す米軍、防衛省こそこれに追従する市当局に對峙して「その手に騙されるか」という私たちの動きが拮抗した1年であったと話されました。

その後、各政党からあいさつがあり、日米地位協定の見直しに力を注ぐという話が相次ぎました。

集会のあと、元気よんシユプレヒコールをしながら、峰山町内周回パレードで市民にアピールしました。

介護職員の処遇向上と仲間を増やそう!

「ケアユニオンきょうと」結成

介護職員の処遇改善と利用者の権利確立をめざして、労働組合の協議会である「ケアユニオンきょうと」の結成総会が10月25日に開催されました。

3年前から関係する労働組合が集まり、6回の学習会を重ねるなど粘り強い取り組みを続け、結成を迎えました。介護職場で働く職員の声を集め、労働条件改善と仲間づくりを目的に労働組合の枠をこえた協議会がスタートしました。

総会では、「介護職員が働き続けられるために」とのテーマで大阪健康福祉短期大学の鴻上圭太教授が講演。その後の交流では、「他の組合と交流できるのいいと思う」「小さい組合なのでケアユニオンを心強く思う」「今日を機に広



「ケアユニオンきょうと」に集まった仲間たち

がりができる期待を感じる」など、「ケアユニオンきょうと」に対する期待の声が出されました。今後の取り組みが期待されます。

わたしのオスマ本 『ハンセン病児問題史研究 一國に隔離された子ら』

福祉保育労働京都地本書記長 谷本 樹保



生活と教育はどのような実態にあったのか、どのように感じ、生活してきたのかなど、何度も療養所に足を運んで、ハンセン病者の声を聴き、実態を解明しています。国策による隔離や差別・偏見、人格権を含む権利侵害に苦しんで来た私にとって、看過できない問題です。療養所の子どものたちの

書の実態を直視し、子どもの権利保障という視点に立ちまわることが、私たち一人ひとりの責務であり、社会全体の課題としてとらえることが大事だと思えました。福祉を仕事にするものだけでなく、この本でみなさんに感じてほしいです。

書名・ハンセン病児問題史研究一國に隔離された子ら
出版社・新日本出版社
著者・清水 寛
定価・6500円+税

京都労働相談センター結成20周年迎える

働く人が気軽に相談できる 窓口として、さらに発展を



20年の思いを込めた祝賀会に

京都支部幹事長・小笠原伸児弁護士から来賓あいさつを戴き乾杯。スピーチでは相談員のB阪田正博さんが授業で事例紹介して、「センターの存在を覚えておきます」と語った女子高生の紹介など、未来につながるものとなりました。

10月26日午後6時よりホテル・ルビノ京都堀川において、京都労働相談センター結成20周年記念祝賀会が開かれました。

加盟労組や友誼団体、政党、近畿各府県の相談センター、労働相談から労働争議をたたく仲間や自主経営会社を起した仲間などの参加で、「20年」の思いを込めたものとなりました。

香川裕一・運営委員長の主催者あいさつ、京都総評・梶川憲議長、自由法曹団